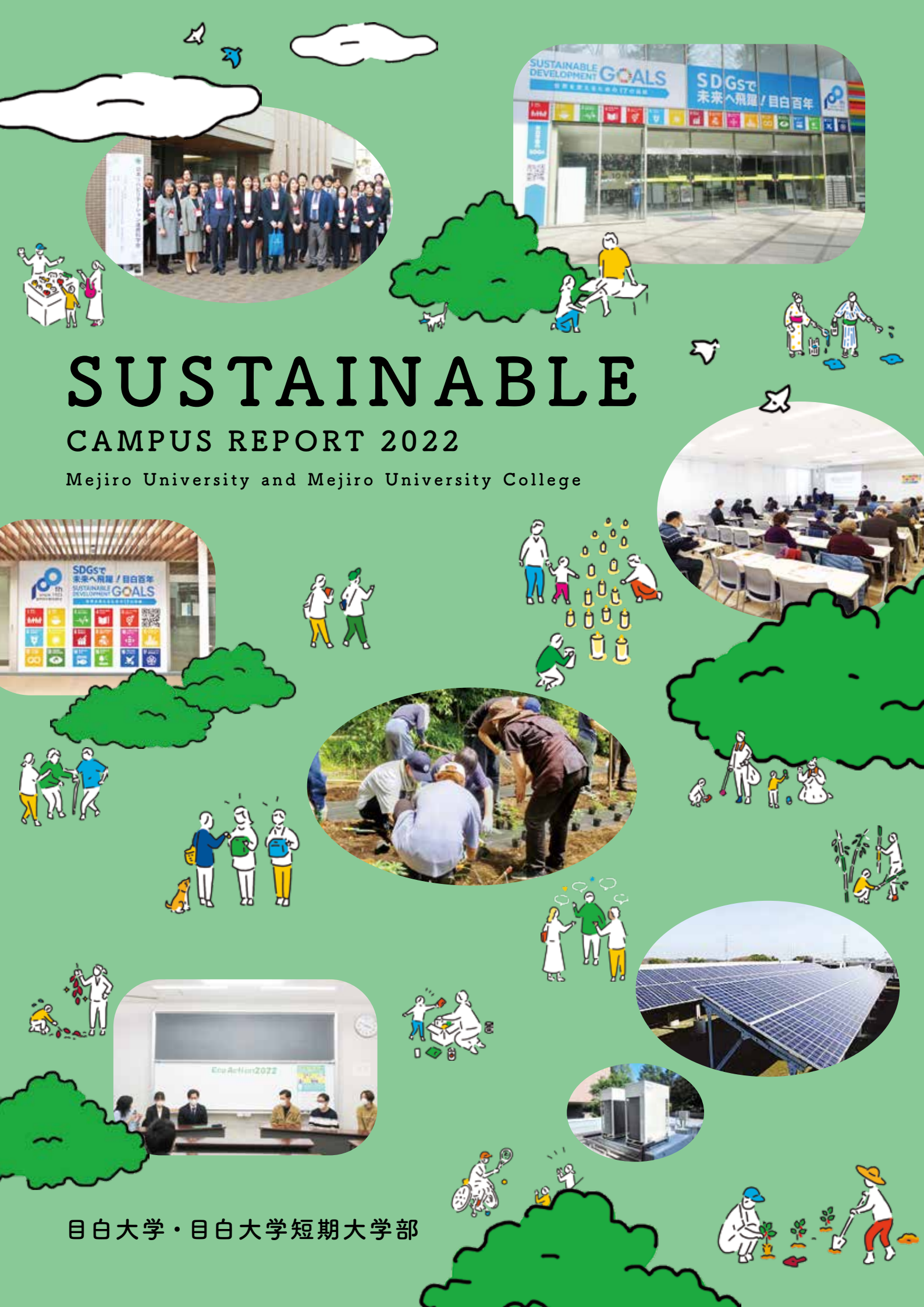




SUSTAINABLE

CAMPUS REPORT 2022

Mejiro University and Mejiro University College



本学園では2020年に「目白学園SDGs取組宣言」を採択し、人類の将来について世界的な合意が得られた目標の実現のために、全学をあげて取り組んでいます。2022年度からは目白大学新宿キャンパス全学部の学生を対象とした「SDGs副専攻」課程がスタートしました。1年次の必修科目である「持続可能な社会を考える」には多くの学生が履修し、まずは順調なスタートを切れたように思います。また社会学部、メディア学部、看護学部など各学部学科で、その特徴を活かしながら地域と連携してSDGsに関わる活動もできています。こうした本学の取り組みは下記にあるように、『東洋経済ACADEMIC』の「SDGsに取り組む大学特集」号でも取り上げられました。私たちは、暮らしやすい地球を持続させていくために、ひとりひとりが自分のできることを行っていく責任があると思います。そのための本学の取り組みの一端を、この「サステナブルキャンパスレポート2022」でご覧いただければ幸いです。

> SDGs SUB-MAJOR

SDGs 副専攻課程がスタート

2022年4月より、目白大学新宿キャンパス全学部学生を対象に「SDGs副専攻」課程がスタートしました。SDGs副専攻では、自分の「主専攻」以外の分野も幅広く学びながら、ものごとのつながりや関係性・多様性を認識することで、私たちを取り巻く社会や世界を構造的にとらえるシステム思考と問題発見力を養います。世の中の動きや社会的諸課題に広く関心を持ち、それを自分事としてとらえ、知識の習得はもとより、課題の解決に向けて行動したい、そして主体的・積極的に社会に関わり貢献したいといった意欲的・活動的な学生を求めています。将来ビジネスやコミュニティにおいて、リーダーシップとパートナーシップをもって活躍できる、持続可能な社会を構築する担い手・人材を育成することを目指します。SDGs副専攻は、共通科目として開講されている科目のほか、さまざまな学部・学科からなる学際的カリキュラムで、SDGsについて体系的・段階的に学ぶことができます。必修科目として講義2科目とセミナー2科目を履修、選択科目として3つの科目群の

それぞれから2科目以上(合計6科目以上)を履修します、全体で20単位以上の単位取得が必要です。特にセミナーはSDGs副専攻希望者だけが履修するアドバンスト・プログラムです。修了要件を満たせば、主専攻の学位記に加えて、副専攻の修了証が授与されます。



目白大学副専攻サイト

SDGs 副専攻 カリキュラム表

科目区分		科目名	科目配置	配当年次	単位数	SDGsゴール	修了要件
必修科目	総合科目	持続可能な社会を考える	共通科目	1	2	01～17	2科目4単位必修
		グローバルな視点で学ぶ社会と人間	共通科目	2	2		
	副専攻ゼミ	SDGs基礎セミナー	共通科目	3	2		2科目4単位必修
		SDGs特別セミナー	共通科目	3	2		
選択科目	第Ⅰ群	貧困に対する支援、日本と世界の経済事情、現代の社会福祉、現代教育入門、生涯学習概論、男女共同参画社会論など15科目	共通科目 専門科目	1～3	1～2	01～06	2科目4単位 選択必修
	第Ⅱ群	自然科学的な視点から地球環境問題を考える、コーポレート・ガバナンス、未来を拓くイノベーション、こどもと人権、ダイバーシティ社会論、都市環境デザインなど15科目	共通科目 専門科目	1～3	2	07～11	2科目4単位 選択必修
	第Ⅲ群	社会生活のデザイン、環境倫理学、自然地理学概説、法学入門、現代グローバル・イシュー概説、観光と国際協力など15科目	共通科目 専門科目	1～3	2	12～17	2科目4単位 選択必修

修了要件は、必修科目8単位、選択必修科目12単位以上
(第Ⅰ群～第Ⅲ群よりそれぞれ4単位以上)、合計20単位以上

> ACADEMIC CONFERENCE

日本リハビリテーション
連携科学学会を本学で開催

2023年3月11日と12日の2日間にわたり、目白大学さいたま岩槻キャンパスにおいて、テーマを「多様化するリハビリテーション連携」として、日本リハビリテーション連携科学学会第24回大会を開催しました。本学会は、医師や看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、特別支援学校教員、精神保健福祉士、社会福祉士、ソーシャルワーカー、職業訓練指導員、臨床心理士などの多くのリハビリテーション関連職種および障がい当事者が集まり活動している学会です。保健医療学部教員を中心に本学学生スタッフも加わり大会の準備・運営を行いました。今回の大会では、会員による一般演題発表の他に学生ポスター発表のセッションも設けました。初めての学会発表で緊張した学生も多かったですが、将来、リハビリテーション専門家を目指す上でとても良い経験になったと感想を述べていました。



大会運営スタッフ

> SPECIAL FEATURE

東洋経済SDGs大学特集

2022年7月、東洋経済新報社から『東洋経済ACADEMIC』の「SDGsに取り組む大学特集」第4弾として「行動の10年」の新たなステージへ「持続可能な社会実現に向け加速する「連帯・連携」」が公開されました。その中の「未来を創る大学の実践」コーナーで、国際社会や地域社会、企業との連携によって課題解決を目指す全22大学の1つとして、目白大学の取り組みが紹介されました。本学のコンセプトは「SDGsのローカライゼーションを推進し、持続可能な社会づくりの担い手を育てる」。SDGsの達成に向けた全学的な取り組み、特に2022年4月より開設した新宿キャンパス全学部の学生を対象とした「SDGs副専攻」課程、および本学教員4名による研究活動・社会貢献事業と4つのゼミによる教育活動・地域連携事業にそれぞれ焦点を当てた実践事例を取り上げています。



東洋経済SDGs大学特集 Vol.4

目白大学の環境対策

省エネルギー対策

- 集中制御空調システム
- 高効率空調機
- ヒートポンプ式給湯器
- 氷蓄熱システム
- LED照明
- 人感センサー
- 昼光センサー
- インバーター式蛍光灯
- ソーラーシステム

緑化対策

- 樹木管理
- 屋上緑化
- 緑のカーテン
- 透水性インターロッキング

省資源対策

- ごみの分別
- 中水道システム
- 傘のシェアリングサービス
- 再生紙の利用

その他の対策

- 遮熱フィルム
- UVカット窓ガラス
- Low-E複層ガラス
- 全熱交換器
- 重力換気窓
- 空気清浄機
- 喫煙以外の全面禁煙



太陽光発電



氷蓄熱システム



屋上緑化



空気清浄機



中水道システム

ECOアクション

2022年10月23日、3年ぶりの実地開催となった第54回桐和祭の2日目、学校法人目白学園エコキャンパス及びSDGsプロジェクト推進委員会の主催で「ECOアクション2022～プレゼンテーション&ディスカッション」を開催しました。学生を中心に50名以上の参加があり盛況でした。ECOアクションとは、学生自らが企画し実施する環境プロジェクトのこと。2011年度に始まり、これまでに72件のプロジェクトが採択実施されました。2022年度は5団体の企画が採択され、対面形式で活動報告（プレゼンテーション）と意見交換（ディスカッション）が行われました。後半のディスカッションセッションでは、パネルディスカッション形式で5団体の代表が司会とともに登壇し、エコプロジェクトの実施にあたって苦労したことや社会に対して貢献できたと思うこと、プロジェクトと学科の学びとのつながりや学生をどう巻き込むかなど、学科・ゼミを超えたクロストークで交流を深めることができました。

2022年度 採択・実施企画一覧

- 1 エシカルワールドへ ようこそ（児童教育学科 石田ゼミ）
- 2 ごみ箱をお道具箱に!? ～つくってワクワク！
目指せ!!リサイクル名人～（児童教育学科 渡邊ゼミ）
- 3 皆の街を綺麗にしちゃおう!（児童教育学科 新聞委員会）
- 4 新宿区食品ロス削減協力店の聞き取り調査とSNSを利用したSDGsアクションプロジェクト（地域社会学科 飛田ゼミ）
- 5 いすみ川リパークリクルーズへのボランティア参加（メディア学科 川端ゼミ）



プレゼンテーション



ディスカッション



集合写真

SDGs活動

3 地域連携事業「脳の活性化活動 de 目白大学」でSDGsに貢献する



地域住民を対象にした看護学部看護学科主催の地域連携事業です。参加者が多重課題を通して脳を活性化することを目的としています。そして、将来医療職に携わる学生にとっては、社会貢献する機会となり、参加者の安全・安心、楽しみながら参加

できるようサポートをすることを通して、日ごろの学修を発揮する場になります。開始前に健康チェックとして、看護技術を学修した学生が普段の様子を伺うなど声をかけながら丁寧に血圧を測定しました。多重課題では、参加者と学生が輪になって、腕を振り、足踏みをしながらしりとりや数字を数えることに取り組みました。SDGsでは、あらゆる年齢のすべての人々の健康と福祉を確保することを目指しています。地域とのつながりを大切に、学生とともに、地域住民の健康維持、増進に向けて継続して取り組んでいきます。

9 Unityで新宿&南相馬観光ゲームの制作と実況動画の公開



メディア学部メディア学科の平山秀昭ゼミは、「デジタル技術 × UXデザイン」をキーワードとするゼミで、Unityゲームプログラミングを中心に活動を行っています。2022年度、3年生は新宿観光振興協会と、2年生は福島県の南相馬観光協会

と連携し、それぞれUnityでオリジナルの新宿観光ゲーム、南相馬観光ゲームを複数チームに分かれて制作しました。また、両学年とも自分たちで制作したゲームの実況動画をYouTubeで公開しました。制作途中の打ち合わせで頂いたご意見・ご要望に応えようと、『君の名は。』のラストシーンに登場する須賀神社とか「震災から復興する力強い町」といった表現を加えています。この活動により、デジタル技術・プログラミングという専門性を磨くと同時に、社会連携活動を通して持続可能な世界への意識を高めています。

12 つくる責任 消費責任 食品ロス削減を通じた地域づくりとひとづくり



社会学部地域社会学科の飛田満ゼミでは、「SDGsの視点から地域社会の未来を創造する」をコンセプトに、「地域との連携」と「世代を超えた交流」を通して、持続可能なまちづくりの担い手となる人材育成（地域づくりとひとづくり）を目指すプロジェクト

型のアクティブラーニングを展開しています。2022年度は、新宿区ごみ減量リサイクル課のご支援と落合第二地区協議会のご協力により、市民向けSDGsアクションフォーラム2022～新宿区食品ロス削減協力店の聞き取り調査とSNSを利用したSDGsアクションプロジェクト～を開催しました。学生たちは手分けして、飲食店やスーパー等、区内12店舗の特徴や雰囲気、登録申請の理由、取り組み内容、成果と課題、協力店登録のメリット、新型コロナウイルスの影響、感染症対策等について聞き取り調査した結果を報告しました。

17 パートナリングで課題を乗り越えよう 伝統野菜を継承する地域活性化プロジェクトへの参画



社会学部社会情報学科の専門教育科目「ボランティア活動入門A（担当教員：土屋依子）」では、新宿名産の伝統野菜「内藤とうがらし」を通じて地域を元気にする活動「内藤とうがらしプロジェクト」に参画しています。2022年度は、新宿キャンパス内

での「内藤とうがらし」の栽培のほか、戸山地区内藤とうがらしガーデンでの栽培の支援、区内商業施設での内藤とうがらし販売イベントの支援、とうがらしメニュー・レシピの提案、地域や学校で取り組めるとうがらしイベントの企画提案等のグループ活動に取り組みました。自ら計画したボランティア活動の実践と、伝統野菜の保全と継承に取り組む専門家・区内事業者の方々との交流を通じて、多様なまちづくりへの関わり方を学び、地域課題の解決に貢献する行動力を育成しています。

施設・設備の省エネ対策

目白学園では積極的に施設・設備の省エネ対策を行っています。2022年度は、新宿キャンパス4号館・桐和館の照明のLED化を実施しました。これにより4号館・桐和館の照明による消費電力を69%低減することができます。現在の学園施設全体の照明LED化率は約86%で、2023年度も継続して新宿キャンパスの佐藤重遠記念館と桐和国際寮Ⅱ・Ⅲにおいて照明のLED化を計画しています。また、高効率空調設備への更新も随時行っています。2022年度は、2号館の老朽化した空調チラーユニットを高効率EHP空調機に更新しました。これにより2号館の空調による消費電力を66%低減することができます。大型熱源であるチラーユニットから、個別空調のEHPに更新することで、部屋ごとに電源のON/OFFおよび空調の温度調整が容易になりました。さらに、日射が強い窓ガラスは遮熱フィルムを施し、教室のブラインドには遮熱タイプを採用することで、空調負荷低減に努めています。

* EHP: Electric Heat Pump

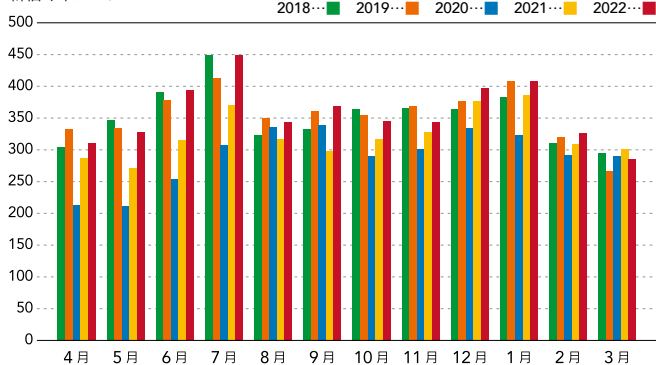


高効率EHP空調室外機

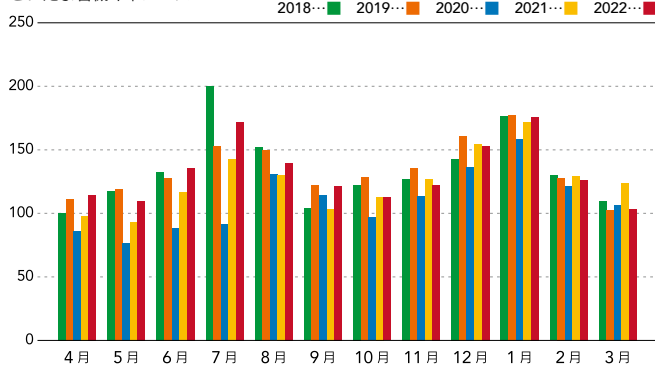
環境負荷データ > DATA

電気使用量 (単位: 千kwh)

新宿キャンパス

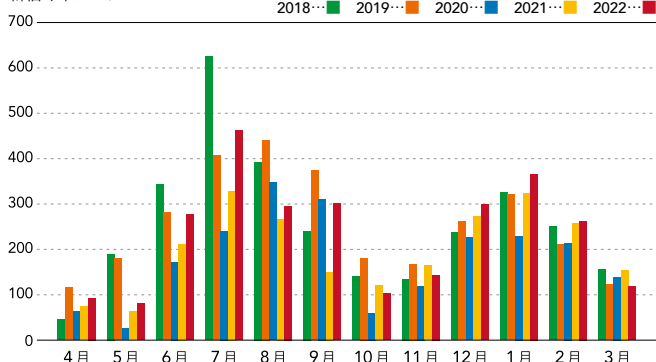


さいたま岩槻キャンパス

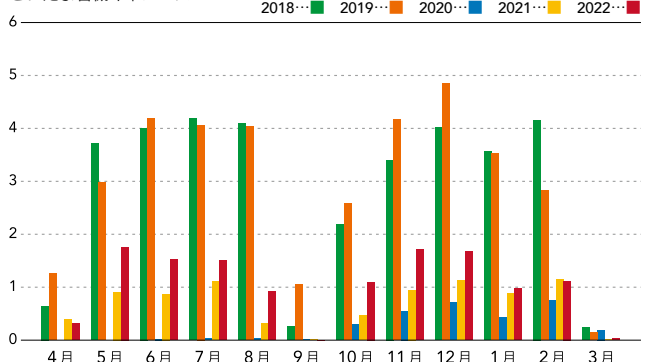


ガス使用量 (単位: 百m³)

新宿キャンパス

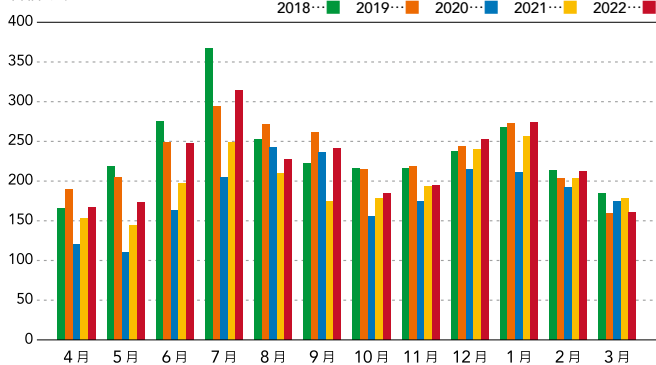


さいたま岩槻キャンパス

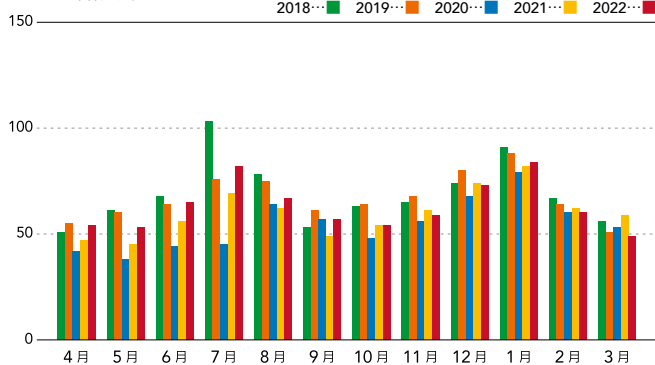


CO₂排出量 (単位: t)

新宿キャンパス



さいたま岩槻キャンパス



■新宿キャンパス
■さいたま岩槻キャンパス
<https://www.meiji.ac.jp>

東京都新宿区中落合 4-31-1 TEL:03-5996-3117
埼玉県さいたま市岩槻区浮谷 320 TEL:048-797-2222



目白学園は2023年、
創立100周年を迎えました。

設置者	学校法人目白学園 (理事長 尾崎 春樹)	
目白大学	創設年	1994年 目白大学創設
	学生数	5,656名 (2023年5月1日現在)
目白大学短期大学部	設置学部・学科	心理学部 心理カウンセリング学科 (2020年4月開設)
		人間学部 心理カウンセリング学科/人間福祉学科/子ども学科/児童教育学科
		社会学部 社会情報学科/メディア表現学科/地域社会学科
		メディア学部 メディア学科 (2018年4月開設)
		経営学部 経営学科
		外国語学部 英米語学科/中国語学科/韓国語学科/日本語・日本語教育学科
		保健医療学部 理学療法学科/作業療法学科/言語聴覚学科
		看護学部 看護学科
	大学院	国際交流研究科/心理学研究科/経営学研究科/生涯福祉研究科/言語文化研究科
		看護学研究科/リハビリテーション学研究科
目白大学短期大学部	創設年	1963年 目白学園女子短期大学創設 (2000年 目白大学短期大学部に名称変更)
	学生数	422名 (2023年5月1日現在)
	設置学科	ビジネス社会学科/製菓学科/歯科衛生学科 (2019年4月開設)



新宿キャンパス10号館



さいたま岩槻キャンパス本館・3号館